



令和 2 年 7 月 1 0 日
～美ら島の未来を拓く～
沖 縄 総 合 事 務 局

「チャンス拡大型」の試行について

記 者 発 表 資 料

- ◆沖縄総合事務局開発建設部（建設系）発注の工事において、総合評価落札方式の実施に際して、十分な技術力を持つにもかかわらず評価対象となる実績を持たない企業や技術者に対しても受注機会が拡大されるよう、「チャンス拡大型」の試行を実施します。
- ◆競争参加資格要件として、沖縄県内に本店がある企業とする。
- ◆試行実施の件数は、年間：数件程度を予定しています。
- ◆「チャンス拡大型」の試行は、令和 2 年 7 月 1 0 日以降に手続きを開始する工事から実施します。

令和 2 年 7 月 1 0 日
沖 縄 総 合 事 務 局

記 者 発 表
沖縄総合事務局記者クラブ

問 い 合 わ せ 先	
内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部	
技 術 管 理 課 長	内 里 清 一 郎 （内線 3 3 1 1）
技術管理課 技術調整専門官	中 山 実 （内線 3 3 1 3）
電 話 番 号	0 9 8 - 8 6 6 - 1 9 0 4 （直通）

【試行の概要】

■防災・減災、社会資本の適切な維持管理などの重要性が増してきている中で、沖縄県においても、災害対応を含む地域における社会資本を支える担い手（企業・技術者）の中長期的な育成・確保が必要である



総合評価落札方式の実施に際して、十分な技術力を持つにもかかわらず評価対象となる実績を持たない企業や技術者に対しても受注機会が拡大されるよう、「チャンス拡大型」の試行を実施します。

「チャンス拡大型」の評価内容

- 1) 配置予定技術者の能力等は、総合評価の対象に含まない。
(企業の能力等は、従来とおり総合評価の対象とする)
- 2) 各工事毎の課題を1課題選定し、参加企業から提出された技術提案を、総合評価の対象とする。
- 3) 競争参加資格として、沖縄県内に建設業法に基づく本店が所在する企業に限定する。
- 4) 試行対象は、一般土木工事(C等級)とする。
※発注件数は年間：数件程度を予定。
- 5) 試行の適用年月日は、令和2年7月10日以降に公告する工事とする。

以 上